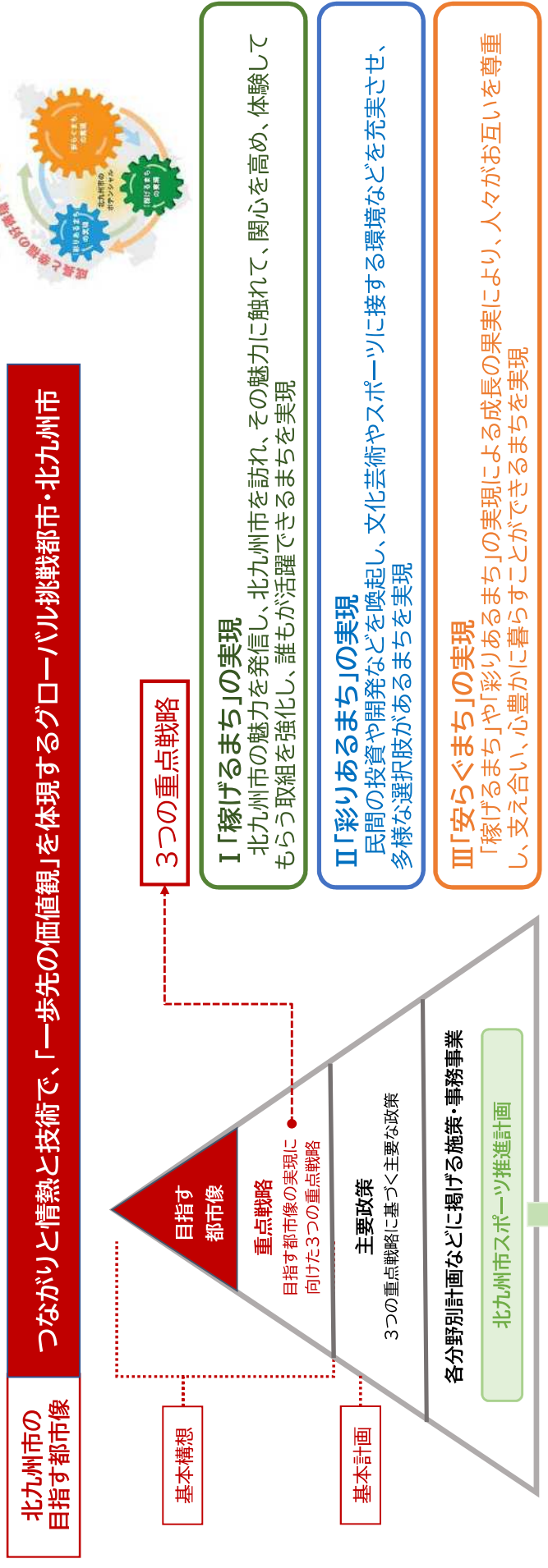


北九州市基本構想・基本計画(新ビジョン)と北九州市スポーツ推進計画との関連

▼北九州市基本構想・基本計画(新ビジョン) 概要(令和6年3月策定)



▼北九州市スポーツ推進計画

基本構想・基本計画との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年3月に策定された新ビジョンは、今後のまちづくりの方向性と主要な政策のみ示しており、具体的な施策は各分野別計画で示す必要がある。</li> <li>本計画の施策には、新ビジョンの目指す都市像の実現に向けた「3つの重点戦略」を踏まえる。</li> <li>スポーツに接する環境やコンテンツが充実した「彩りあるまち」の実現に積極的に取り組むとともに、まちの成長の起点となる「稼げるまち」の実現にスポーツから寄与できる取組は、本計画の重点方針に位置付ける。</li> </ul>
他の分野別計画との連動	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画における施策及びその推進にあたっては、市民の健康増進、子どもの教育・健全育成、共生社会の推進、観光等の産業振興、文化振興など、スポーツ振興と関連する施策・取組を主とする分野別計画と相互に連携を図っていく。</li> </ul>
計画策定の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の北九州市のスポーツに係る施策を計画的に推進するため、総合的な方針及び施策の方向性、具体的な取組を示した「北九州市スポーツ推進計画」を策定する。</li> </ul>
計画の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ基本法第10条第1項に規定する「地方スポーツ推進計画」として位置付ける。</li> <li>また、令和6年3月に策定された新ビジョンに基づく分野別計画として、位置付ける。</li> </ul>
計画期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画期間は5年間(令和7年度～令和11年度))とし、必要に応じ、見直しを行う。</li> </ul>

## 専門調査員の選出について

北九州市スポーツ推進審議会条例第7条に基づき、次期「北九州市スポーツ推進計画」の策定に向けた検討を行うための専門調査員を審議会委員の中から5名選出し、また、有識者(外部)を3名選定し、当課を事務局とした「北九州市スポーツ推進計画策定検討会」を組織する。

### ■「北九州市スポーツ推進計画」策定検討のための専門調査員(8名)

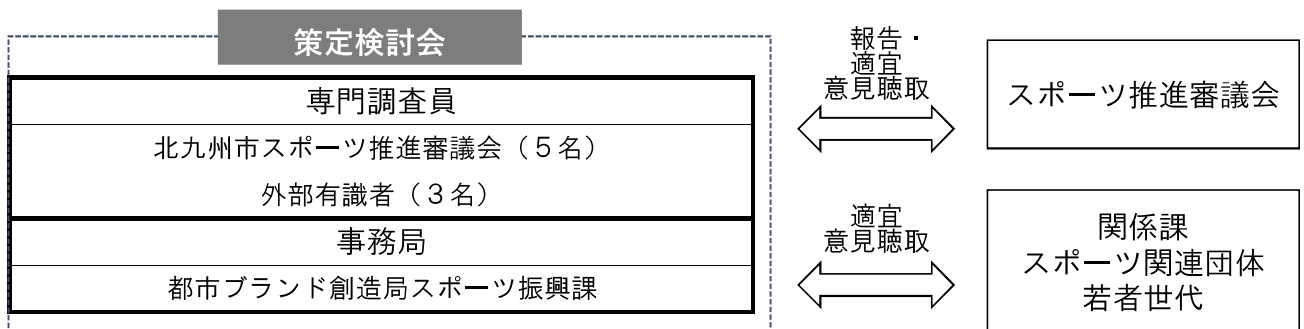
区分		氏名	所属	選考の視点
スポーツ推進審議会	団体代表	有延 忠剛	北九州市障害者スポーツセンター所長	パラスポーツ、ユニバーサルデザイン
	団体代表	梶山 幹子	北九州市小学校体育連盟	子どもの体力・スポーツ、学校体育
	学識経験者	倉崎 信子	九州栄養福祉大学教授	健康科学、健康心理学
	団体代表	久澄 喜裕	公益財団法人北九州市スポーツ協会事務局長	生涯スポーツ、利用者(スポーツ)団体、指導者育成
	学識経験者	船津 京太郎	九州共立大学教授	発育発達、トレーニング
外部有識者	個人	池元 友樹	北九州市スポーツ大使	元スポーツアスリート
	学識経験者	花内 誠	九州産業大学教授	スポーツビジネス
	学識経験者	松崎 淳	九州共立大学講師	スポーツまちづくり、国際スポーツプロモーション

### 【北九州市スポーツ推進審議会条例(第7条抜粋)】

(専門調査員) 第7条

審議会に専門事項を調査審議させるため専門調査員を置くことができる。

### 「北九州市スポーツ推進計画策定検討会」の組織体制



## 北九州市スポーツ推進計画策定検討会開催予定等

委員任期:令和6年6月1日～令和7年3月31日

時 期	審議事項等(予定)
令和6年7月5日(金)	第1回検討会 ・座長の選出について ・北九州市スポーツ推進計画の骨子案について 等
令和6年8月23日(金)	第2回検討会 ・北九州市スポーツ推進計画の素案について 等
令和6年9月26日(木)	教育委員会会議への報告
令和6年10月7日(月)	常任委員会への報告
令和6年10月～11月	パブリックコメントの実施
令和6年11月下旬	第3回検討会 ・北九州市スポーツ推進計画の最終案について 等
令和6年12月頃	常任委員会への報告
令和7年3月頃	議会への報告(公表)

# 北九州市スポーツ推進計画の概要

- 新ビジョンの重点戦略「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」を踏まえた3つの方針を柱立て。
- 3つの方針に沿って、これまでの取組も踏まえた施策を進めていくとともに、その中でも「スポーツで稼げるまちの実現」の視点を強化する。
- スポーツを取り巻く環境変化が激しいことを踏まえ、個別具体的な事業レベルではなく、スポーツ振興が目指す大きな方向性を定め、行政や関係団体、企業や市民とのバクトルを合わせるための計画とする。

スポーツで「まちが成長」の好循環



方針Ⅰ・方針Ⅱ・方針Ⅲが運動し、プラスに作用することで、スポーツで「まちが成長」の好循環につながります。

令和6年9月18日現在

市民誰もが生涯を通してスポーツに親しみ気になることで、豊かで未来輝く市民生活の実現を図る。

また、スポーツの力で都市の魅力を上げて、国内外から多様な人々を惹きつけ、地域・経済の活性化を促すことで、まちの成長を目指す。

## スポーツでACCESS!



《方針Ⅰ》 **重点方針**  
スポーツでまちの魅力にACCESS!

一歩先を見据えた新たなスポーツコンテンツを創出し、都市ブランド力を高め、スポーツで稼げるまちを実現する

施策1 スポーツを通じた都市ブランド力の向上

- ① 観るスポーツの機会充実
- ② スポーツによるまちの活性化の推進
- ③ 大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催支援
- ④ スポーツツーリズムの推進
- ⑤ 都市の魅力を高めるスポーツの振興
- ⑥ プロスポーツチーム等・アスリートの応援機運の醸成
- ⑦ 興行ニーズに対応した開催環境づくり
- ⑧ プロスポーツチーム等との連携による地域活性化
- ⑨ 戦略的プロモーションにつながる効果的な情報発信



《方針Ⅱ》  
いつでもだれもがスポーツにACCESS!

市民のスポーツ活動を推進し、気軽にスポーツに親しめる場を充実させ、ウェルビーイングを実現する

施策2 市民のスポーツ活動の推進

- ① 市民のスポーツ活動の参加や観る機会の創出・充実
- ② 女性や若者、働く世代のスポーツ機会の創出
- ③ スポーツを通じた心と身体の健全な発達
- ④ 競技スポーツの支援
- ⑤ インクルーシブスポーツ(障害のある人などのスポーツ活動)の推進

施策3 気軽にスポーツに親しめる場の充実

- ① スポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境にやさしい取組の促進
- ② 学校体育施設の有効活用
- ③ 多様なライフスタイルに対応したスポーツ施設の運用
- ④ 公園など身近な運動の場の提供
- ⑤ 産学官連携によるスポーツ環境の創出



《方針Ⅲ》  
スポーツで未来にACCESS!

子どもの個性や可能性はぐくみ、スポーツを支える人材とともに、まちの活力や魅力を向上させる

施策4 子どものスポーツ活動の推進

- ① 学校体育による子どもの体力向上
- ② 子どもの個性や可能性を引き出す運動・スポーツに親しむ機会の充実
- ③ 子育て世代に向けたスポーツ情報発信の充実

施策5 スポーツを支える人材の活躍の場の充実

- ① スポーツ推進委員・スポーツ指導者・プラススポーツ指導者の育成・活用及び資質向上
- ② 地域スポーツを支える団体(北九州市スポーツ協会等)の活動の充実
- ③ 大学等との連携による地域スポーツを支える人材の育成・拡充・支援
- ④ プロスポーツチーム等と大学等との連携によるスポーツボランティア活動などの場づくり

令和7年度から令和11年度(5年間)

- 目標
- ① スポーツを身近に感じる市民の割合 70%(令和11年度目標)(現状44.4%)
  - ② スポーツ実施率 70%(令和11年度目標)(現状56.6%)
  - ③ スポーツ観戦率 40%(令和11年度目標)(現状20.0%)
  - ④ 観光消費額 1,800億円(令和10年度目標)(現状827億円)

令和6年9月18日現在

# 北九州市スポーツ推進計画 素案

## はじめに

北九州市は、昭和38(1963)年、九州初の「百万都市」、  
「政令指定都市」として誕生しました。その翌年の昭和39  
(1964)年には東京五輪が開催され、市内企業の選手の活  
躍などにより、スポーツは北九州市のまちの一体感とシビ  
ックプライドの醸成に大きな役割を果たしてきました。

また、市としても、市民のスポーツ活動機会の創出・拡大  
やプロスポーツ観戦機会の増大、スポーツ施設の整備など  
の様々なスポーツ施策を関係機関や競技団体等の関係者  
と連携・協力を図りながら取り組んできました。



今後は、スポーツによるまちづくりをさらに進めるため、だれもが気軽にスポーツに親しめ  
る環境づくりやプロスポーツチーム等との連携、アーバンスポーツの普及・振興、大規模国際  
スポーツ大会のさらなる開催などにより、スポーツを通じた「一歩先の価値観」を体現できる  
取組を進めることが重要です。

北九州市では、令和6(2024)年3月に「北九州市基本構想・基本計画」を策定し、新たなま  
ちづくりをスタートさせたところです。

今回策定した「北九州市スポーツ推進計画」は、スポーツを取り巻く環境変化が激しいこと  
を踏まえ、北九州市基本構想が目指す都市像の実現に向けて、市民の皆様や競技団体、企業  
など関係の皆様とベクトルを合わせ、スポーツ関連施策を共に力強く進めていくための指針  
としています。

スポーツは、人々の生活や心を豊かにする「ウェルビーイング」の観点を持つのみならず、  
様々な社会課題を解決できる「社会活性化等に寄与する価値」を持ち、経済や社会を元気に  
する「大きなエンジン」にもなります。

今後は、本計画のスローガンである「スポーツでACCESS！」を合言葉に、スポーツが持つ  
魅力とチカラを最大限に発揮することで「スポーツで稼ぐ」を実現し、「豊かで未来輝く市民生  
活」と「まちの成長」の好循環につなげてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なご尽力をいただいた、北九州市スポーツ推進計画  
策定検討会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただいた皆様に、心より感謝申  
し上げます。

令和 年 月

北九州市長 武内 和久

# 目次

---

## はじめに

<b>第1章 計画策定にあたって</b> .....	<b>1</b>
1 計画策定の趣旨 .....	1
2 計画の位置づけ .....	1
3 計画期間 .....	2
4 計画におけるスポーツの範囲 .....	2
5 スポーツの価値・効果 .....	2
<b>第2章 北九州市のスポーツ推進に関する動向等</b> .....	<b>3</b>
1 社会情勢等 .....	3
2 北九州市のスポーツの現状 .....	4
(1) 北九州市におけるスポーツの特性 .....	4
(2) 北九州市におけるスポーツの強み・ポテンシャル .....	5
(3) 北九州市のスポーツ関連の主な取組(北九州市スポーツ振興計画の策定以降) .....	7
(4) 市政変革の視点 .....	8
<b>第3章 目指す姿と3つの方針</b> .....	<b>9</b>
1 目指す姿／スローガン .....	9
2 目指す姿の実現に向けた3つの方針 .....	10
<b>第4章 施策体系図</b> .....	<b>11</b>
<b>第5章 主要施策</b> .....	<b>12</b>
<b>方針 I スポーツでまちの魅力に ACCESS !</b> .....	<b>12</b>
<b>施策1 スポーツを通じた都市ブランド力の向上</b> .....	<b>12</b>
(1) 観るスポーツの機会充実 .....	12
(2) スポーツによるまちの活性化の推進 .....	12
(3) 大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催支援 .....	12
(4) スポーツツーリズムの推進 .....	13
(5) 都市の魅力を高めるスポーツの振興 .....	13
(6) プロスポーツチーム等・アスリートの応援機運の醸成 .....	13
(7) 興行ニーズに対応した開催環境づくり .....	13
(8) プロスポーツチーム等との連携による地域活性化 .....	14
(9) 戦略的プロモーションにつながる効果的な情報発信 .....	14

<b>方針Ⅱ いつでもだれもがスポーツに ACCESS !</b> .....	<b>15</b>
<b>施策2 市民のスポーツ活動の推進</b> .....	<b>15</b>
(1) 市民のスポーツ活動の参加や観る機会の創出・充実 .....	15
(2) 女性や若者、働く世代のスポーツ機会の創出 .....	15
(3) スポーツを通じた心と身体の健全な発達 .....	15
(4) 競技スポーツの支援 .....	15
(5) インクルーシブスポーツ(障害のある人などのスポーツ活動)の推進 .....	16
<b>施策3 気軽にスポーツに親しめる場の充実</b> .....	<b>16</b>
(1) スポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境にやさしい取組の促進 .....	16
(2) 学校体育施設の有効活用 .....	16
(3) 多様なライフスタイルに対応したスポーツ施設の運用 .....	16
(4) 公園など身近な運動の場の提供 .....	17
(5) 産学官連携によるスポーツ環境の創出 .....	17
<b>方針Ⅲ スポーツで未来に ACCESS !</b> .....	<b>18</b>
<b>施策4 子どものスポーツ活動の推進</b> .....	<b>18</b>
(1) 学校体育による子どもの体力向上 .....	18
(2) 子どもの個性や可能性を引き出す運動・スポーツに親しむ機会の充実 .....	18
(3) 子育て世代に向けたスポーツ情報発信の充実 .....	18
<b>施策5 スポーツを支える人材の活躍の場の充実</b> .....	<b>19</b>
(1) スポーツ推進委員・スポーツ指導者・パラスポーツ指導者の育成・活用及び資質向上 .....	19
(2) 地域スポーツを支える団体(北九州市スポーツ協会等)の活動の充実 .....	19
(3) 大学等との連携による地域スポーツを支える人材の育成・拡充・支援 .....	19
(4) プロスポーツチーム等と大学等との連携によるスポーツボランティア活動などの場づくり .....	19
<b>第6章 計画の目標</b> .....	<b>20</b>
1 計画の目標 .....	20
<b>資料編 参考データ・用語集</b> .....	<b>21</b>
1 北九州市民スポーツ実態調査 .....	22
(1) 調査の概要 .....	22
(2) 調査結果 .....	23
2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 .....	33
(1) 調査の概要 .....	33
(2) 調査結果 .....	34
3 市内スポーツ施設情報 .....	35
4 北九州市スポーツ推進計画策定過程 .....	36
(1) 策定の過程 .....	36
(2) 北九州市スポーツ推進計画策定検討委員会 .....	37
5 用語集 .....	38



# 第1章 計画策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

北九州市では、平成28(2016)年9月に「北九州市スポーツ振興計画」(平成23(2011)年9月策定)を改訂し、「ライフステージに応じたスポーツ機会の創造とスポーツを通じた元気なまちづくりの推進」を基本理念に掲げ、スポーツの振興に取り組んできました。

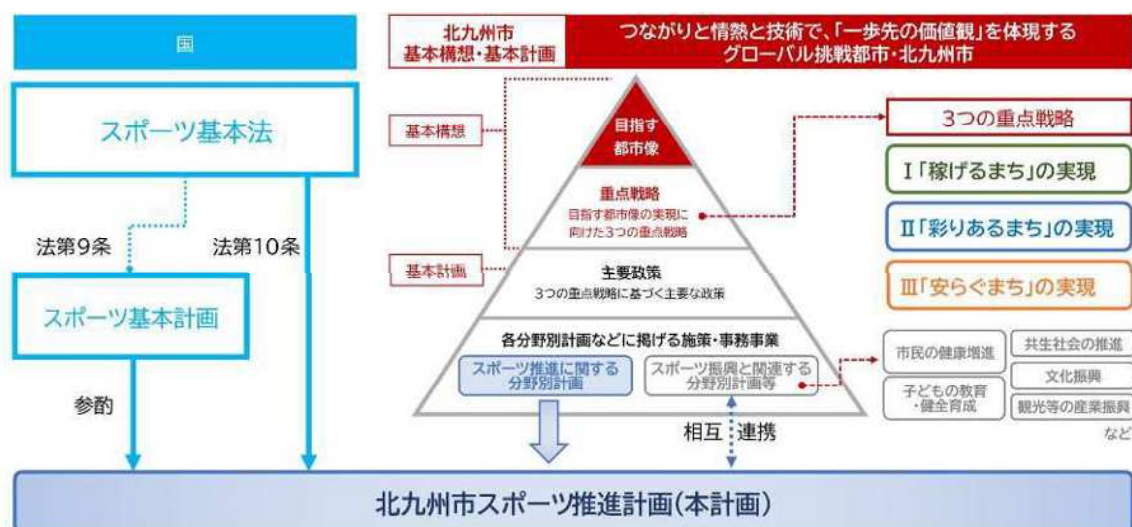
そのような中、北九州市では、令和6(2024)年3月にこれからの市政運営の指針となる「北九州市基本構想・基本計画」を策定し、北九州市が目指す都市像として『つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市・北九州市』を掲げました。

また、目指す都市像の実現に向けた3つの重点戦略として、「稼げるまち」の実現、「彩りあるまち」の実現、「安らぐまち」の実現を定め、「成長と幸福の好循環」を生み出すための取組を進めています。

このような目指す都市像や重点戦略の実現にスポーツの分野からアプローチし、市民や団体、企業などが一丸となって、スポーツの持つ力で「豊かで未来輝く市民生活」と「まちの成長」の好循環を目指すため、新たに「北九州市スポーツ推進計画」を策定しました。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、「北九州市基本構想・基本計画」の重点戦略や主要施策を反映した、スポーツ推進に関する分野別計画になります。また、国が定める「スポーツ基本法」に基づく、「地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画」に位置付けるものです。



## 北九州市基本構想・基本計画における「稼げるまち」の実現に向けた戦略について

「稼げるまち」の実現に向けた戦略として、第1ステップとしては、北九州市を知ってもらうことが重要となります。観光やエンターテインメント、スポーツなどのサービスを強化して、北九州市の魅力や新たな動きを広く市内外に発信していきます。第2ステップとしては、様々な企業や人材に来てもらって、始めてもらうこと。第3ステップでは、企業や人材の集積が次の集積を呼んでいくメカニズムをつくり、定着してもらうこと。こうした戦略によって、取り組むべきベクトルを合わせながら、産学官民の力を結集して、「彩りあるまち」や「安らぐまち」の実現につなげていきます。

### 3 計画期間

---

本計画の計画期間は、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間とします。

なお、スポーツを取り巻く環境の変化等に対応するため、必要に応じて計画期間内において、見直しを行うこととします。

### 4 計画におけるスポーツの範囲

---

平成23(2011)年に施行されたスポーツ基本法の前文冒頭において「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と記されており、国の第3期スポーツ基本計画では、「スポーツ」には、競技スポーツに加え、散歩やダンス・健康体操、ハイキング・サイクリング、野外活動やスポーツ・レクリエーション活動も含まれており、「文化としての身体活動」を意味する広い概念とされています。

本計画においても、「スポーツ」の範囲を国が定める範囲を基本としつつ、北九州市の地域特性や時代・環境の変化などを考慮して判断します。

### 5 スポーツの価値・効果

---

スポーツは、個人レベルでは心身の健全な発達や体力向上、健康寿命の延伸につながるだけでなく、スポーツを通じた達成感や爽快感を得ることができ、ストレス解消や精神的な充実感をもたらします。また、社会レベルでは、地域コミュニティの強化、経済活性化、まちのにぎわいの創出にもつながります。ほかにも、礼儀や協調性を学ぶことができる教育的価値や、スポーツを通じた国際交流による国際的価値など、多種多様な価値があります。

## 第2章 北九州市のスポーツ推進に関する動向等

### 1 社会情勢等

国では、平成23(2011)年8月に施行された「スポーツ基本法」に基づき、令和4(2022)年3月に「第3期スポーツ基本計画」が策定されました。

この計画では、社会情勢の変化やスポーツを取り巻く環境に対応し、持続可能な社会の実現を目指していくため、「する」「みる」「ささえる」視点に加え、スポーツで「つくる／はぐくむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」といった新たな3つの視点が追加されました。

このような視点を踏まえ、持続可能な社会の実現を目指すべく、社会情勢等の変化をすばやく的確にとらえ、スポーツを推進していくことが求められています。

そして現在、人口減少・少子高齢化の進行をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化、コロナ禍における東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことなどにより、スポーツが社会活性化にもたらす価値を再認識することができました。

そのような社会情勢等を背景に、スポーツ庁は、日本の未来を切り拓く「スポーツ立国」の実現に向け、子どもがスポーツに親しむ機会を守るための部活動の地域移行や、共生社会実現に向けた障害者スポーツの理解啓発などに取り組むこととしています。また、「モノ」から「コト」への国民の消費トレンドの変化や、東京オリンピック・パラリンピックなどの大規模国際スポーツ大会等の開催を契機としたスポーツ関連消費や投機が高まる機会を活かし、スポーツを「産業」の一つとして捉え、スポーツの「成長産業化」を目指しています。

## 2 北九州市のスポーツの現状

---

### (1) 北九州市におけるスポーツの特性

北九州市が発足した翌年の昭和39(1964)年10月に東京五輪が開催され、市内の八幡製鐵所から陸上、水泳、サッカー、バレーボールに計18人の選手が出場し、水泳やバレーボールのメダル獲得に貢献しました。これに象徴されるように、北九州市のスポーツは企業チームを中心に活発に活動が行われ、野球やラグビーでも全国レベルの活躍をみせていました。また、高校スポーツにおいても、全国で通用するチームや選手が次々に生まれました。

他方で、生涯スポーツの大切さも重視されるようになり、平成以降は、高齢者の健康づくりや、子どもたちに多様な競技を体験できることで運動を好きになってもらう取組も広がってきました。

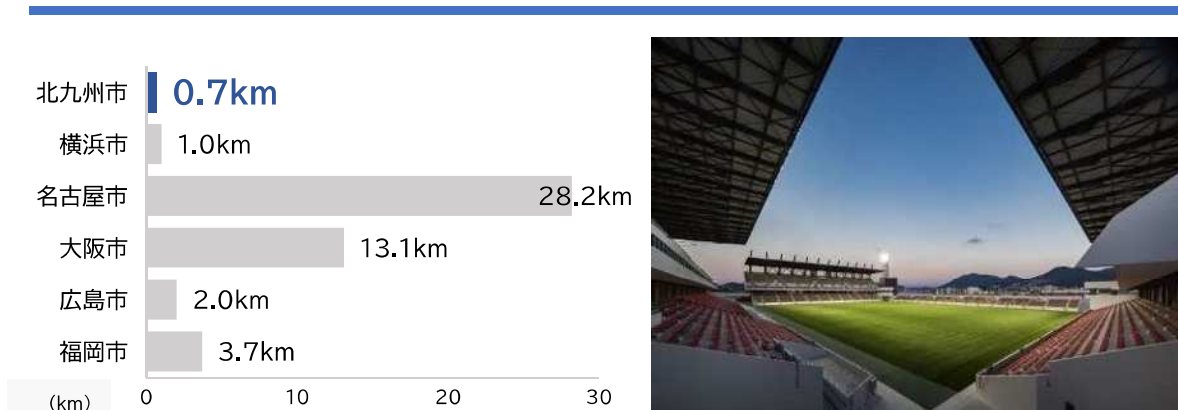
さらには、市制50周年記念事業のフィナーレとして始まった北九州マラソンでは、市民ランナーを中心に全国から1万人を超える人が集まり、それ以降、北九州市を象徴するスポーツ大会として、毎年開催されています。

また、近年では、2021世界体操・新体操選手権北九州大会の開催をはじめ、大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催に積極的に取り組んでいます。

## (2) 北九州市におけるスポーツの強み・ポテンシャル

### ●立地最高の“駅チカ・海チカ”のスタジアムである北九州スタジアム

#### 各都市の主要駅からスタジアムまでの距離比較



(出典)各都市の新幹線「のぞみ」停車駅から主要スタジアムまでの直線距離を google map にて測定

### ●プロスポーツコンテンツが多彩な都市環境



●大規模国際スポーツ大会等開催経験における国内外での高い評価

▼バレーボールネーションズリーグ2024 福岡大会



▼WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州



ツール・ド・九州2023▲

▼2021世界体操・新体操選手権 北九州大会



### (3) 北九州市のスポーツ関連の主な取組(北九州市スポーツ振興計画の策定以降)

時期	主な取組
平成 23 年 9 月	北九州市スポーツ振興計画策定
平成 24 年 4 月	北九州市障害者スポーツセンター アレアス 供用開始
平成 26 年 2 月	北九州マラソン第 1 回大会開催
平成 28 年 9 月	北九州市スポーツ振興計画改定
平成 28 年 9 月	浅生スポーツセンター供用開始
平成 29 年 2 月	北九州スタジアム供用開始
平成 29 年 2 月	JAPAN RUGBY DREAM MATCH 2017 開催
平成 30 年 6 月	2018 ITTF ワールドツアー LION 卓球ジャパンオープン萩村杯開催
平成 30 年 9 月	北九州 2018 ワールドパラパワーリフティング アジア-オセアニアオープン選手権大会開催
平成 31 年 2 月	女子テニス国別対抗戦 フェドカップ(日本対スペイン)開催
令和元年 9 月	ラグビーワールドカップ 2019 ウェールズ代表キャンプ受け入れ
令和元年 11 月	サッカー女子日本代表 MS&AD カップ 2019(日本対南アフリカ)開催
令和 2 年 4 月	城山緑地アーチェリー場供用開始
令和 2 年 6 月	桃園市民プール供用開始
令和 3 年 3 月	サッカーU-24 日本代表 国際親善試合(日本対アルゼンチン)開催
令和 3 年 4 月	曾根臨海運動場供用開始
令和 3 年 7 月～8 月	東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ受け入れ
令和 3 年 10 月	2021 世界体操・新体操選手権北九州大会開催
令和 4 年 6 月	ラグビー日本代表「リポビタン D チャレンジカップ 2022」(日本対ウルグアイ)開催
令和 5 年 2 月	WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州 開催
令和 5 年 9 月	新門司第2グラウンド供用開始
令和 5 年 9 月	サッカー女子日本代表国際親善試合(日本対アルゼンチン)開催
令和 5 年 10 月	ツール・ド・九州 2023 開催
令和 6 年 3 月	サッカーU-23 日本代表国際親善試合(日本対ウクライナ)開催

#### (4) 市政変革の視点

北九州市では、社会経済上及び財政上の様々な課題に直面しており、未来への挑戦を続ける都市としての持続可能性を保ち、安心安定した生活環境を次世代に引き継ぐためには、行財政運営のあり方を変革する必要があります。

北九州市が取り組む市政変革は、「もっぱら『削る改革』ではなく、未来を『創る改革』とし、行財政運営のカタチを変えることで、将来に向けて都市の総合力を高めることを目指しています。

北九州市のスポーツを維持・発展させるためにも、社会情勢や市民ニーズに応じて、財政の様様替えや制度の見直しなど、迅速・柔軟に対応していく必要があります。

こうしたことから、スポーツ施策の展開にあたっては、「北九州市市政変革推進プラン」や「北九州市公共施設マネジメント」等を踏まえ、財源などを有効に活用できるよう、選択と集中の観点を考慮して進めていきます。